



## 【全国初】地方創生の評価指標として「つながりの豊かさ指標」を共同開発

日本財団は、鳥取県との共同プロジェクト「みんなでつくる“暮らし日本一”鳥取県」の一環として、慶應義塾大学 SFC 研究所（社会イノベーション・ラボ）と共同で、地域における自発的な協力活動が生まれる根底にある人々の「つながり」に着目した「つながりの豊かさ指標」を開発しました。

今後、地域における人と人との「つながり」を活かした自発的な取組の活性化が、持続可能な充実した豊かな暮らしを形成する真の地方創生に寄与するとの認識の下、この指標を共同プロジェクト全体の評価軸として活用するとともに、「鳥取発」の地方創生の評価指標として県内の自治体や全国各地での活用を呼びかけていきます。

### 記

#### 1 指標開発の目的

県民の生活実感や活動実感をもとに、鳥取県における「つながりの豊かさ」を可視化・指標化し、その状況を把握（評価）できるようにすることで、共同プロジェクトを通じた評価基盤として活用し、鳥取県における地方創生の効果を高める環境づくりを行います。

#### 2 指標の開発プロセス

鳥取県民がボランティア活動への高い関心と参加率を持ち、自治会や地域住民組織などの地域活動を盛んに行っていることに着目し、こうした自発的な協力活動が生まれる根底にある人々の「つながり」について、鳥取県で活動している方々がどのように実感しているか調査を行いました。

調査では、県内の活動団体等へのインタビュー調査や新聞記事の分析を行い、得られた発言等を基に「つながり要因」として60項目を設定し、「県民（3000人）」「NPO法人・広域的地域運営組織（388組織）」「行政担当者（19市町村）」を対象とした「質問紙調査（つながり要因の重点化調査）」を実施しました。

この結果をもとに、今後の鳥取県において特に着目すべき「つながり要因」22項目（重要だと認識しているが実現度の低い項目）を抽出するとともに、これらの実態を具体的な数値として測定するための「つながり度」を検討し、これらを22項目の「鳥取県のとつながりの豊かさ指標」として設定しました【参考1】。

#### 3 今後の指標の活用

今後、多角的にその経年変化を把握し、共同プロジェクト全体や助成事業等の評価軸として活用していくとともに、鳥取県の「つながりの豊かさ」や「ソーシャル・キャピタル【参考2】」の醸成と維持・向上に向けて多様な主体の協働を支援し、より効果的な地方創生の推進を促していきます。

「つながりの豊かさ」を地方創生の評価指標として活用することは全国初であり、その発想や知見を鳥取発のものとして提唱し、今後、県内の自治体や全国各地での活用を呼びかけていきます。

【参考1】「鳥取県のつながりの豊かさ指標」(22項目)

つながり要因 (つながりの豊かさを醸成し続ける要因)	つながり度 (鳥取県で活動する組織等の状況・実感)
(1)自分が楽しめる地域活動であること	<b>楽しさ自給度</b> (仲間の共感を得て実現した新規事業の割合)
(2)世代の異なる人たちと一緒に活動する機会があること	<b>多世代協働度</b> (世代の異なる人たちと一緒に活動した事業の割合)
(3)親子で参加できる取り組みがあること	<b>親子ボランティア度</b> (親子で参加できる事業の割合)
(4)活動を通じて自然や文化、祭事などの地域の魅力を知ること	<b>ふるさと魅力の認知向上度</b> (自然や文化、祭事などの地域の魅力への認知を高める事業の割合)
(5)無理せずに行えることに取り組めること	<b>ほどよい楽配度</b> (活動メンバーが(各自のほどよい楽配で)無理なく活動に取り組んでいると思う割合)
(6)地域活動を通じた仲間との交流が楽しいこと	<b>自分もみんなも楽しい度</b> (活動メンバーがお互いに元気やエネルギーをもらっていると思う割合)
(7)世代が異なる人たちとも話し合いができる関係であること	<b>多世代関係構築度</b> (世代が異なる人たちが対話をする機会を提供した事業の割合)
(8)行政と気軽に相談できる関係であること	<b>行政とのスクラム度</b> (行政とは一緒に取り組む関係にあると思う割合)
(9)必要な時に賛同や協力してくれる仲間がいること	<b>みんなでノルノル度</b> (何かに挑戦するとき、前向きに応援・賛同してくれる仲間がいると思う割合)
(10)活動があることで地域に一体感が生まれること	<b>地域の一体感醸成度</b> (活動を通じて、地域の一体感を醸成していると思う割合)
(11)活動を通じて、お互いを尊重する付き合い方を学ぶこと	<b>気配り創出度</b> (活動を通じて、良い意味で、お互いに「気配り」をすることが増えたと思う割合)
(12)新しい人や外から来た人など、誰でも受け入れる雰囲気があること	<b>内向きオープン度</b> (外部から来た方が地域の一員として活動している事業の割合)
(13)子どもたちに「帰ってこい」と言える地域であること	<b>楽しさ回帰の声かけ度</b> (活動メンバーが、自分の楽しい経験から「地域に帰ってこい」と声を掛けることが増えたと思う割合)
(14)がんばる若者を応援すること	<b>若者活躍の重視度</b> (活動メンバーが地域の若者が活躍することを重視していると思う割合)
(15)「地域を良くする」気持ちで活動すること	<b>恩返し意識度</b> (地域の状況として、みずから「地域を良くしよう」とする活動が増えたと思う割合)
(16)地域の課題を解決するために自ら行動すること	<b>地域課題挑戦度</b> (地域の課題を解決するために実施した事業の割合)
(17)自分や仲間が共に楽しんで活動していること	<b>ともに楽しむ活動度</b> (仲間とともに楽しむための活動に参加をしている割合)
(18)やりがいを感じながら活動すること	<b>みんなでやりがい向上度</b> (活動メンバーが、みんなと一緒に活動することで、やりがいを高めていると思う割合)
(19)物事がうまく進むように仲間と連携をとること	<b>気配りが自然度</b> (活動メンバーが、お互いに自然な気配りをする中で「事業がうまく進むこと」が増えたと思う割合)
(20)地域や社会において、様々な立場で活動すること	<b>たくさんの役割度</b> (役割を担って活動している組織の割合)
(21)地域活動において、一人ひとりが大事にされていること	<b>みんなお互いに尊重度</b> (活動メンバーの意見やアイデアを活かした事業の割合)
(22)地域の景観がよくなったり、暮らしやすさが実現すること	<b>自発的な協力づくり度</b> (組織での活動の経験から、活動メンバーが「当該事業以外でも協力し合うこと」が増えたと思う割合)

## 【参考2】ソーシャル・キャピタルと地方創生

私たちが生活を営む“社会（ソーシャル）”は、人と人の「つながり」が重層的に連鎖するネットワークによって成り立っています。そういった社会において、人々の「つながり」が豊かで、相互に信頼しあうことや、協力しあうこと、また、お互いさまと考えること（互酬性の規範）などが実現していると、「ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）」が醸成されていると説明することができます。

「ソーシャル・キャピタル」に関する既存研究では、グループや組織内で相互の信頼が高ければ、当事者間での詳細な取り決めや交渉などをする必要がないため、自発的に協力し合う協調活動が生まれやすく、時間的・金銭的なコストの節約になり、成果を実現する際の効率が高まるとされています。

地方創生の推進においても、生活や活動を共にする人々によるコミュニティにて、人と人とのつながりが豊かで、相互に信頼や協力しあうことが充実している地域では、自発的な協力が生まれ、結果として、効果的かつ生産性高く取り組みやすくなります。

ただし、こうした人々のつながりや協力関係は、人口減少や少子化、高齢化等によって人々が出会い・交流する機会が減少すると、希薄になり劣化していく可能性があります。ソーシャル・キャピタルを醸成し続ける仕組みを構築して、持続可能性を高めていくことが重要です。

## 【参考3】鳥取県における「つながりの豊かさ」の特徴

### 1. 6つの「鳥取県の強み・魅力」

2017年2月20日～3月9日に実施した、「県民」「NPO法人・広域的地域運営組織」「行政担当者」の3つの回答属性を対象とした「質問紙調査（つながり要因の重点化調査）」の調査結果において、3つの回答属性すべてで「①高重要・高実現（＝重要であり、実現している）」とされた項目が6つありました（下記）。この6項目は、3つの回答属性が共通して「大切であり、実現できている」と指摘しており、鳥取県の「強み」や「魅力」となる項目です。（※ 調査方法等は【参考4】「鳥取県つながりの豊かさ指標」開発プロセス参照）

- ・自然を感じながら暮らしを営める地域であること
- ・住んでいて愛着を感じられる地域であること
- ・地域の人と適度な距離で付き合える地域であること
- ・知らないことがあれば、教えてくれる人がいる地域であること
- ・困ったときに周りの人に頼れる地域であること
- ・想いを共有する仲間がいること

### 2. 「これからの期待」が共通して示されたのは

#### 『子どもたちに『帰ってこい』と言える地域であること』と『がんばる若者を応援すること』

重要度と実現度を組み合わせて“期待度”を算出したところ、3つの回答属性において、上位5つに位置づけられたのは以下の項目です。共通して、これからの“期待度”が示されたのは『子どもたちに「帰ってこい」と言える地域であること』と『がんばる若者を応援すること』でした（期待度の算出およびランキングは図表5を参照）。

<県民>

(期待度)

1	がんばる若者を応援すること	57.62
2	子どもたちに「帰ってこい」と言える地域であること	57.38
3	行政と気軽に相談できる関係であること	56.84
4	地域の課題を解決するために自ら行動すること	55.04
5	失敗を恐れず、まずはやってみようと思える地域活動があること	54.34

<NPO法人・広域的地域運営組織>

1	子どもたちに「帰ってこい」と言える地域であること	57.32
2	がんばる若者を応援すること	56.61
3	地域の景観がよくなったり、暮らしやすさが実現すること	51.98
4	失敗を恐れず、まずはやってみようと思える地域活動があること	51.51
5	地域活動において、一人ひとりが大事にされていること	48.77

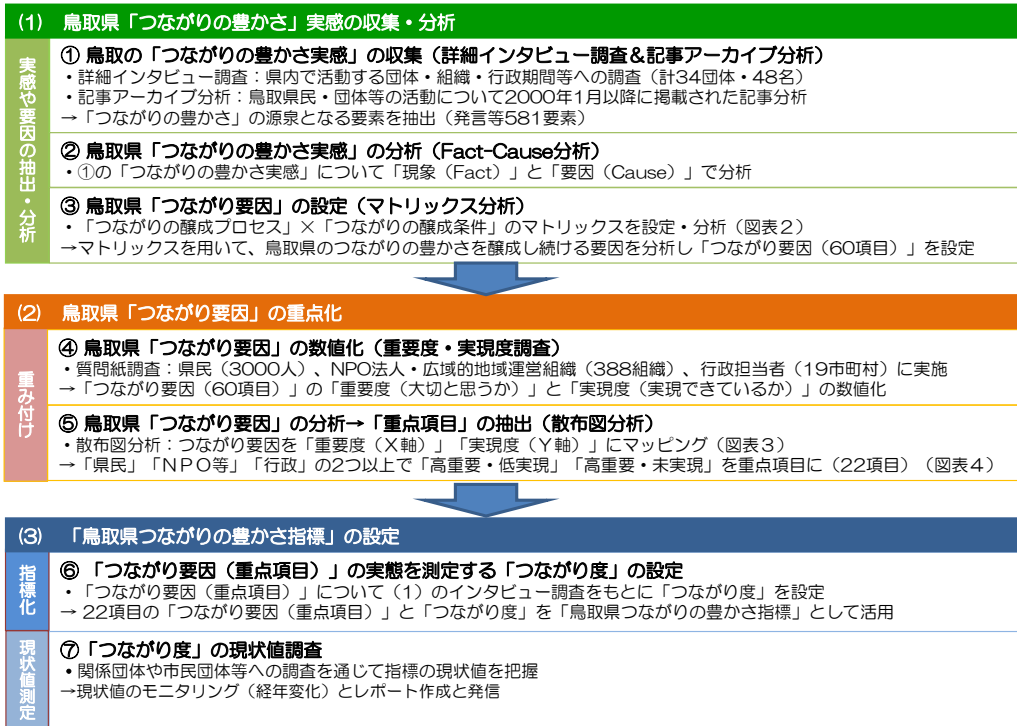
<行政担当者>

1	子どもたちに「帰ってこい」と言える地域であること	62.40
2	がんばる若者を応援すること	56.17
3	無理せずにごくできることに取り組めること	54.71
4	地域の課題を解決するために自ら行動すること	52.55
5	新たな仕事を得るきっかけになること	52.26

# 【参考4】「鳥取県つながりの豊かさ指標」の開発プロセス

「鳥取県つながりの豊かさ指標」は、以下のステップで開発されました（図表1）。

図表1 「鳥取県つながりの豊かさ指標」の開発プロセス



## (1) 鳥取県「つながりの豊かさ」実感の収集・分析

2016年4~8月に、鳥取県内で活動する団体・組織・行政機関など（計34団体・48名）を対象にした「詳細インタビュー調査」や、鳥取の県民や団体等の活動に関して、2000年1月以降に新聞に掲載された記事を分析する「記事アーカイブ分析」を実施し、その発言等（581要素）の分析を行い、鳥取県の「つながり要因（つながりの豊かさを醸成し続ける要因）」として60項目を設定しました（図表2）

図表2 鳥取県「つながり要因」(60項目)

■つながり要因マトリックス		ビジョン 鳥取県において「つながりの豊かさ」を基盤とする地域活動が継続するには					
つながりの醸成条件(ゴール)		愛着・誇り I. 鳥取の自然や伝統や知恵を大切に、地域や社会に思い入れが持てること	好き・楽しい II. 好きなこと、楽しいことが尊重されていること	お互いさま III. 人々が助け合い、出来ることを出来る範囲で協力すること	安心 IV. 助けを求めやすく、手を貸してくれる人が身近にいること	気づき・学び V. 活動することで、新たな気づきや学びが得られること	
つながりの醸成プロセス	お互いさまの協力関係によるお互いさまの意識の醸成	自発的な協力 Initiative	43子どもたちに「帰っていい」と言える地域であること 44がんばる若者応援すること 45「地域を良くする」気持ちで活動すること 46地域の課題を解決するために自ら行動すること	47失敗を恐れず、まずはやってみようと思える活動であること 48自分や仲間が共に楽しんで活動していること 49やりがいを感じながら活動すること 50自分のやりたいことに取り組みていること	51仲間に関われば、自ら協力すること 52物事がうまく進むように仲間と連携をとること 53地域や社会において、様々な立場で活動すること	54地域活動に取り組む時に、乗り越えられない困難はないと思うこと 55地域活動において、一人ひとりが大事にされていること 56仲間同士の助け合いが感じられること	57地域の量感がよくなり、暮らしやすさが実現すること 58地域活動は、自分だけでなく、仲間にとっても必要であること 59地域活動を通じて、自分の成長につながる 60地域活動を通じて、自分のよいところに気がつくこと
	意識の醸成	相互に貢献する Synergy	34想いを共有する仲間がいること	35地域や住民にとって良いと思える地域活動があること 36自分以外の人も楽しめる地域活動があること	37周りの人と活動の目的や内容を共有していること	38新しい人や外から来た人など、誰でも受け入れる雰囲気があること 39活動を共にする仲間を支えられていると感じること	40自分が地域や仲間の役に立っている実感すること 41活動が地域や社会のためになっていること 42活動によって、地域の課題に気づくこと
	影響し合うこと	社会との関わり Relationship	21世代の異なる人たちと一緒に活動する機会があること 22親子で参加できる取り組みがあること 23活動を通じて自然や文化、祭事などの地域の魅力を知ること	24無理せずにできることに取り組めること 25地域活動を通じた仲間との交流が楽しいこと	26世代が異なる人たちとも話し合いができる関係であること 27行政と気軽に相談できる関係であること 28必要な時に賛同や協働してくれる仲間がいること	29周りにいつも気にかけて世話を焼いてくれる人がいること 30活動があることで地域に一体感が生まれること 31地域の中で、住民同士のむすびつきや関係が大切にされていること	32活動が地域の人の助けになっていること 33活動を通じて、お互いを尊重する付き合い方を学ぶこと
	自発的に参加すること	参加の動機 Motivation	8地域の自然を守ることを中心に参加すること 9地域で受け継がれる伝統・文化、習慣を守ることを中心に参加すること 10地域や社会に還元しをすることを目的に参加すること 11地域社会において、みんなで地域活動に取り組むことを重視していること	12地域活動の中に、過去の経験が活かせること 13自分が楽しめる地域活動であること	14身近な人が、地域活動を大切だと考えていること 15身近な人が、活動に参加していること	16挑戦するチャンスと、活躍の場があること	17新たな仕事を得るきっかけになること 18経験を通して役に立つこと 19活動に参加すること自体に価値があること 20活動は自分のためになること
	地域や社会に対する自らの考え方	個人の意識 Interest	1自然を感じながら暮らしを営める地域であること 2住んでいて愛着を感じられる地域であること 3伝統・文化、習慣や知恵が受け継がれている地域であること	4気持ちが満たされる活動ができる地域であること	5地域の人と適度な距離で付き合える地域であること	6知らないことがあれば、教えてくれる人がいる地域であること 7困ったときに周りの人に頼れる地域であること	

(2) 鳥取県「つながり要因」の重点化

鳥取県「つながり要因 (60 項目)」から、特に、今後の鳥取県において着目するもの (=重要だが、実現できていないもの) を抽出するために、2017 年 2 月 20 日～3 月 9 日に、「県民 (3000 人)」「NPO 法人・広域的地域運営組織 (388 組織)」「行政担当者 (19 市町村)」を対象とした「質問紙調査 (つながり要因の重点化調査)」を実施しました (回答数 (回収率) : 県民 1259 件(42%)、NPO 等 177 件(46%)、行政 19 件)。

そして、調査で得た「つながり要因 (60 項目)」の「重要度 (大切と思うか)」と「実現度 (実現できているか)」に関する回答を数値化し、「重要度(X 軸)」「実現度(Y 軸)」の散布図にマッピングしました (図表 3)。

散布図では、重要度と実現度の平均点を軸に設定しました (図表 3 の赤実線)。さらに、実現度については、「実現している」とされた項目の中でも、相対的に低い「低実現 (実現度の平均値よりも高かった項目間の平均値 (図表 3 の青点線)よりも低い項目)」にも着目しました。その結果、「①高重要・高実現」「②高重要・低実現」「③高重要・未実現」「④低重要・未実現」「⑤高重要・高実現」の 5 つの領域を設定しました。

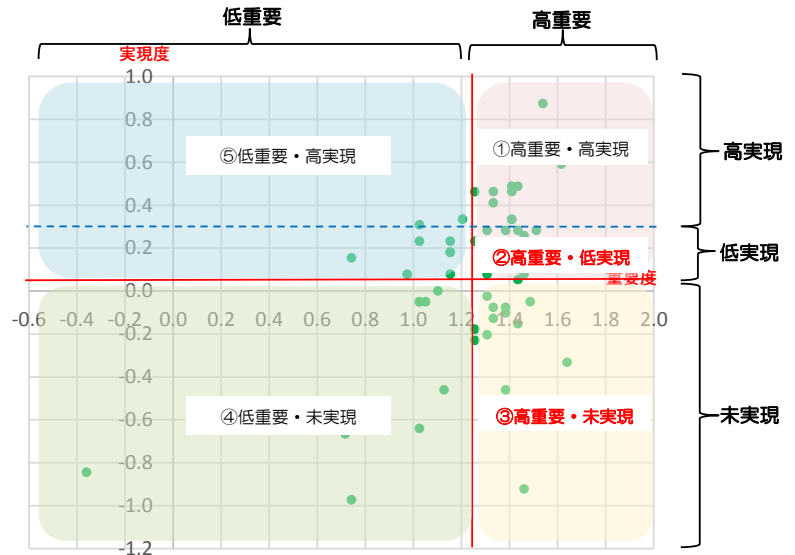
「県民」「NPO 等」「行政」の 2 つ以上で「②高重要・低実現」「③高重要・未実現」となった項目を、鳥取県において特に着目すべき「つながり要因 (重点項目)」として、22 項目を抽出しました (図表 4)。

(3) 「鳥取県つながりの豊かさ指標」の設定

(2)で抽出した「つながり要因 (重点項目)」について、(1)のインタビュー調査での発言をもとに、数値として把握する「つながり度」を設定し、その変化状況を把握しやすくしました【参考 1】。

この「つながり要因 (重点項目)」と「つながり度」の 22 項目を「鳥取県つながりの豊かさ指標」として、その経年変化を把握し、日本財団と鳥取県が取り組む共同プロジェクト全体や助成プログラム等の評価軸として活用していきます。

図表3 つながり要因の散布図



図表4 鳥取県「つながり要因 (重点項目)」(22項目)

つながり要因マトリックス		ビジョン 鳥取県において「つながりの豊かさ」を基盤とする地域活動が継続するには				
つながりの醸成条件 (ゴール)		愛着・誇り I. 鳥取の自然や伝統や知恵を大切にし、地域や社会に思い入れが持てること	好き・楽しい II.好きなこと、楽しいことが尊重されていること	お互いさま III. 人々が助け合い、出来ることを出来る範囲で協力すること	安心 IV.助けを求めやすく、手を貸してくれる人が身近にいること	気づき・学び V. 活動することで、新たな気付きや学びが得られること
つながりの醸成プロセス	お互いさまの意識の醸成	43子どもたちに「帰ってこい」と言える地域であること 44がんばる若者を応援すること 45「地域を良くする」気持ちで活動すること 46地域の課題を解決するために自ら行動すること	47失敗を恐れず、まずはやってみようと思える活動であること 48自分や仲間が共に楽しんで活動していること 49やりがいを感じながら活動すること 50自分のやりたいことに取り組んでいること	51仲間頼まれれば、自ら協力すること 52物事がうまく進むように仲間と連携をとること 53地域や社会において、様々な立場で活動すること	54地域活動に取り組む時に、乗り越えられない困難はないと思うこと 55地域活動において、一人ひとりが大事にされていること 56仲間同士の助け合いが感じられること	57地域の景観がよくったり、暮らしやすさが実感すること 58地域活動は、自分だけでなく、仲間にとっても必要であること 59地域活動を通じて、自分の成長につながることに 60地域活動を通じて、自分のよいところに気がつくこと
	影響し合うことによるお互いさまの意識の醸成	34想いを共有する仲間がいること	35地域や住民にとって良いと思える地域活動があること 36自分以外の人も楽しめる地域活動があること	37周りの人と活動の目的や内容を共有していること	38新しい人や外から来た人など、誰でも受け入れる雰囲気があること 39活動を共にする仲間を支えられていると感じること	40自分が地域や仲間の役に立っていると実感すること 41活動が地域や社会のためになっていること 42活動によって、地域の課題に気づくこと
	参加することによるお互いさまの意識の醸成	21世代の異なる人たちと一緒に活動する機会があること 22親子で参加できる取り組みがあること 23活動を通じて自然や文化、祭事などの地域の魅力を知ること	24無理せずに取り組めることに取り組めること 25地域活動を通じた仲間との交流が楽しいこと	26世代が異なる人たちとも話し合いができる関係であること 27行政と気軽に相談できる関係であること 28必要な時に賛同や協力をしてくれる仲間がいること	29周りにいつも気にかけて世話を焼いてくれる人がいること 30活動があることで地域に一体感が生まれること 31地域の中で、住民同士のむすびつきや関係が大切にされていること	32活動が地域の人の助けになっていること 33活動を通じて、お互いを尊重する付き合い方を学ぶこと
	自ら参加することによるお互いさまの意識の醸成	8地域の自然を守ることを目的に参加すること 9地域で受け継がれる伝統・文化、習慣を守ること 10地域や社会に恩返しをすることを目的に参加すること 11地域社会において、みんなで地域活動に取り組むことを重視していること	12地域活動の中に、過去の経験が活かせること 13自分が楽しめる地域活動であること	14身近な人が、地域活動を大切に考えていること 15身近な人が、活動に参加していること	16挑戦するチャンスと、活躍の場があること	17新たな仕事を得るきっかけになること 18経歴を踏の上で役に立つこと 19活動に参加すること自体に価値があること 20活動は自分のためになること
	地域や社会に対する自らの考え方	1自然を感じながら暮らしを営める地域であること 2住んでいて愛着を感じられる地域であること 3伝統・文化、習慣や知恵が受け継がれている地域であること	4気持ちが満たされる活動ができる地域であること	5地域の人と適度な距離で付き合い合える地域であること	6知らないことがあれば、教えてくれる人がいる地域であること 7困ったときに周りに人に頼れる地域であること	

## 図表5 鳥取県「つながり要因」期待度ランキング

(1) 回答を数値化 【重要度】 大変重要である…10点 重要である…7点 あまり重要ではない…4点 重要でない… 1点  
 【実現度】 よくできている…10点 できている…7点 あまりできていない…4点 できていない…1点

(2) 期待度を算出 期待度＝重要度×(11-実現度)  
 (例) 「大変重要である(10点)」が「できていない(1点)」 10×(11-1)＝100(期待度の最大値)  
 「重要でない(1点)」が「よくできている(10点)」 1×(11-10)＝ 1(期待度の最小値)

県 民	NPO法人・広域的地域運営組織	行 政						
順位	項目	期待度	順位	項目	期待度	順位	項目	期待度
1	がんばる若者を応援すること	57.62	1	子どもたちに「帰ってこい」と言える地域であること	57.32	1	子どもたちに「帰ってこい」と言える地域であること	62.40
2	子どもたちに「帰ってこい」と言える地域であること	57.38	2	がんばる若者を応援すること	56.61	2	がんばる若者を応援すること	56.17
3	行政と気軽に相談できる関係であること	56.84	3	地域の景観がよくなったり、暮らしやすさが実現すること	51.98	3	無理せずに行き始めること	54.71
4	地域の課題を解決するために自ら行動すること	55.04	4	失敗を恐れず、まずはやってみようと思える地域活動があること	51.51	4	地域の課題を解決するために自ら行動すること	52.55
5	失敗を恐れず、まずはやってみようと思える地域活動があること	54.34	5	地域活動において、一人ひとりが大事にされていること	48.77	5	新たな仕事を得るきっかけになること	52.26
6	地域の景観がよくなったり、暮らしやすさが実現すること	53.18	6	行政と気軽に相談できる関係であること	48.19	6	失敗を恐れず、まずはやってみようと思える地域活動があること	50.45
7	やりがいを感じながら活動すること	52.76	7	新たな仕事を得るきっかけになること	47.84	7	挑戦するチャンスと、活躍の場があること	49.49
8	自分のやりたいことに取り組みしていること	52.25	8	挑戦するチャンスと、活躍の場があること	47.69	8	新しい人や外から来た人など、誰でも受け入れる雰囲気があること	48.82
9	「地域を良くする」気持ちで活動すること	51.63	9	地域の課題を解決するために自ら行動すること	47.42	9	やりがいを感じながら活動すること	48.60
10	自分や仲間が共に楽しんで活動していること	51.43	10	地域の中で、住民同士のむすびつきや関係が大切にされていること	47.17	10	自分が地域や仲間の役に立っていると実感すること	47.67
11	新たな仕事を得るきっかけになること	51.33	11	活動があることで地域に一体感が生まれること	47.01	11	活動があることで地域に一体感が生まれること	47.00
12	無理せずに行き始めること	50.99	12	親子で参加できる取り組みがあること	46.41	12	地域の景観がよくなったり、暮らしやすさが実現すること	46.93
13	地域活動において、一人ひとりが大事にされていること	50.81	13	地域活動に取り組む時に、乗り越えられない困難はないと思うこと	45.94	13	身近な人が、地域活動を大切だと考えていること	46.85
14	親子で参加できる取り組みがあること	50.53	14	気持ちが満たされる活動ができる地域であること	45.83	14	世代の異なる人たちと一緒に活動する機会があること	46.62
15	地域や社会において、様々な立場で活動すること	50.52	15	世代が異なる人たちとも話し合いができる関係であること	45.79	15	自分以外の人も楽しめる地域活動があること	46.22
16	挑戦するチャンスと、活躍の場があること	50.27	16	活動を通じて、お互いを尊重する付き合い方を学ぶこと	45.74	16	地域活動に取り組む時に、乗り越えられない困難はないと思うこと	45.82
17	世代の異なる人たちと一緒に活動する機会があること	49.98	17	「地域を良くする」気持ちで活動すること	45.73	17	自分のやりたいことに取り組みしていること	45.71
18	必要な時に賛同や協力してくれる仲間がいること	49.81	18	地域活動は、自分だけでなく、仲間にとっても 必要であること	45.62	18	地域活動を通じた仲間との交流が楽しいこと	45.61
19	地域の自然を守ることを目的に参加すること	49.51	19	地域で受け継がる伝統・文化、習慣を守ることを目的に参加すること	45.01	19	周りの人と活動の目的や内容を共有していること	45.16
20	自分が楽しめる地域活動であること	49.47	20	身近な人が、地域活動を大切だと考えていること	44.94	20	活動によって、地域の課題に気づくこと	45.15
21	地域活動は、自分だけでなく、仲間にとっても必要であること	49.07	21	活動が地域の人の助けになっていること	44.49	21	世代が異なる人たちとも話し合いができる関係であること	45.06
22	活動を通じて、お互いを尊重する付き合い方を学ぶこと	49.06	22	地域の自然を守ることを目的に参加すること	44.33	22	気持ちが満たされる活動ができる地域であること	44.91
23	地域活動を通じて、自分の成長につながる	48.93	23	新しい人や外から来た人など、誰でも受け入れる雰囲気があること	44.15	23	自分が楽しめる地域活動であること	44.66
24	活動があることで地域に一体感が生まれること	48.74	24	自分や仲間が共に楽しんで活動していること	44.13	24	地域で受け継がる伝統・文化、習慣を守ることを目的に参加すること	44.11
25	地域活動を通じた仲間との交流が楽しいこと	48.71	25	地域や社会において、様々な立場で活動すること	44.04	25	自分や仲間が共に楽しんで活動していること	44.11
26	世代が異なる人たちとも話し合いができる関係であること	48.69	26	仲間同士の助け合いが感じられること	43.93	26	活動が地域や社会のためになっていること	43.35
27	地域活動を通じて、自分のよいところに気がつくこと	48.61	27	世代の異なる人たちと一緒に活動する機会があること	43.91	27	「地域を良くする」気持ちで活動すること	43.08
28	地域で受け継がる伝統・文化、習慣を守ることを目的に参加すること	48.44	28	困ったときに周りの人に頼れる地域であること	43.89	28	地域活動を通じて、自分のよいところに気がつくこと	42.91
29	物事がうまく進むように仲間と連携をとること	48.12	29	地域活動を通じて、自分のよいところに気がつくこと	43.62	29	周りにいつも気にかけて世話を焼いてくれる人がいること	42.36
30	地域や社会に恩返しをすることを目的に参加すること	48.03	30	活動を通じて自然や文化、祭事などの地域の魅力を知ること	43.55	30	地域や社会に恩返しをすることを目的に参加すること	42.33